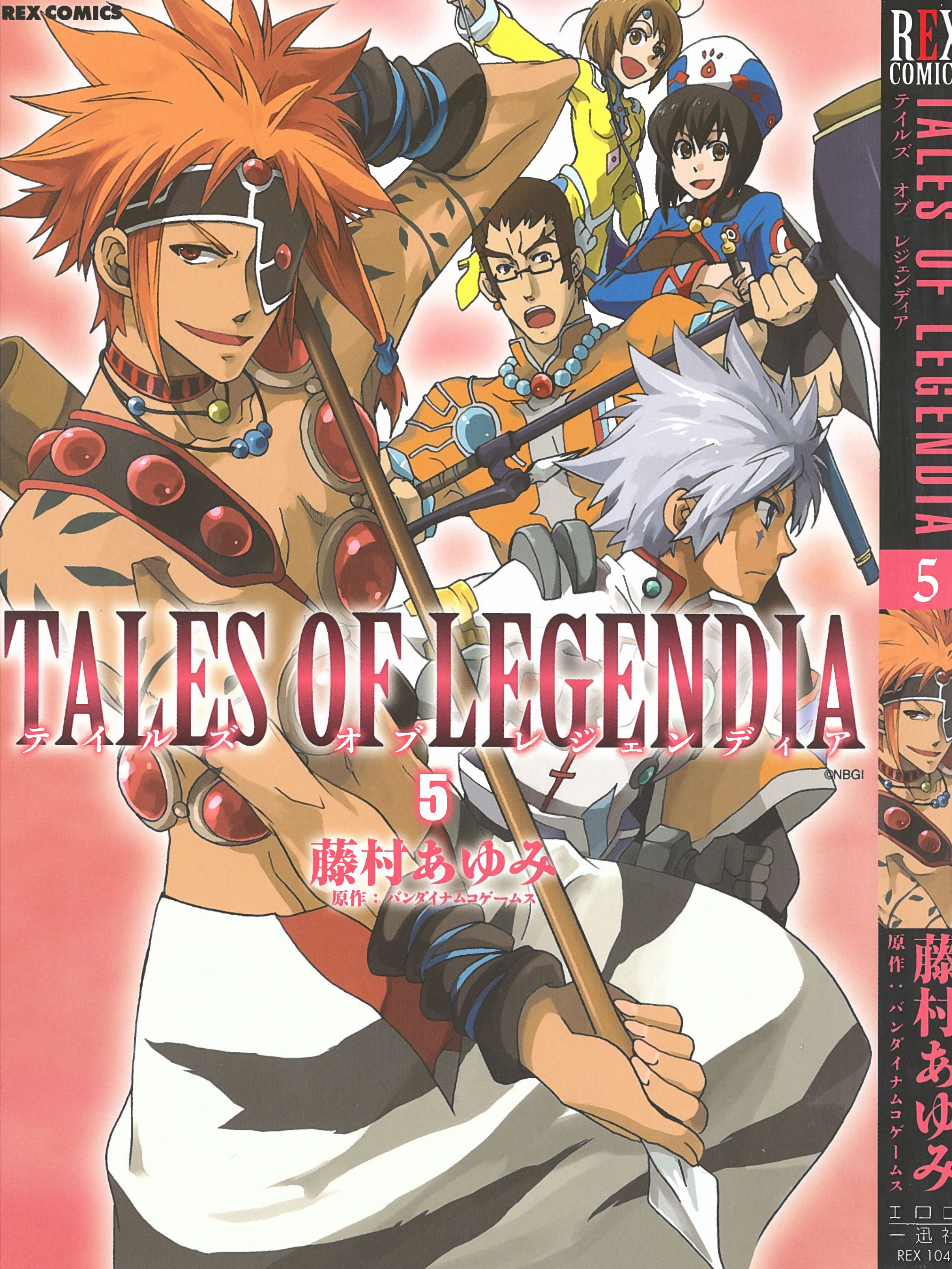
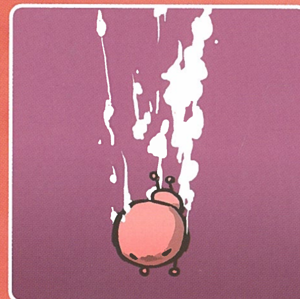

REX COMICS
TALES OF LEGENDIA
テイルズ オブ レジェンディア
©NBGI
5
藤村あゆみ
原作：バンダイナムコゲームス
REX COMICS
テイルズ オブ レジェンディア
TALES OF LEGENDIA
5
原作：バンダイナムコゲームス
藤村あゆみ
一迅社

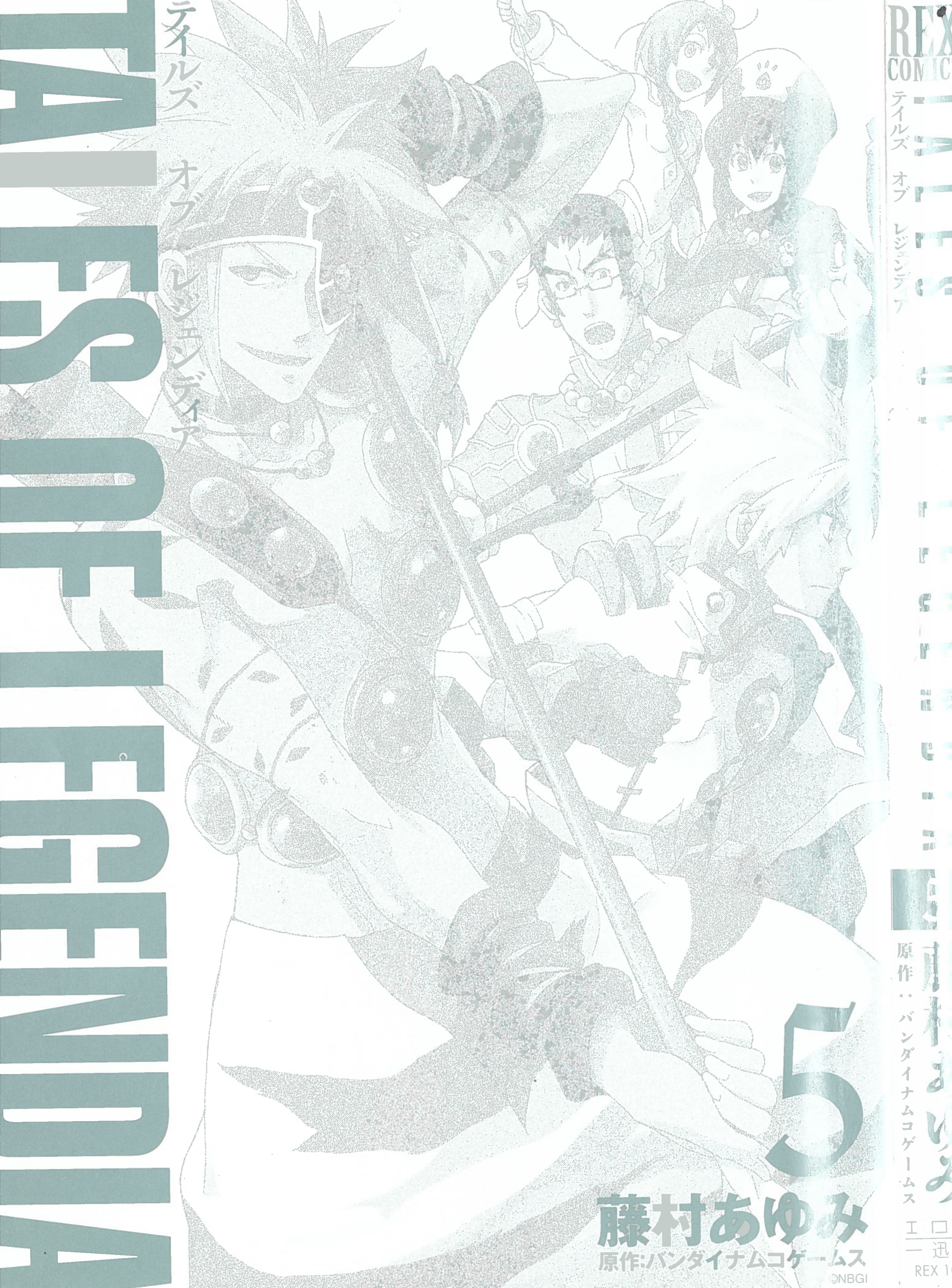
COMMENT



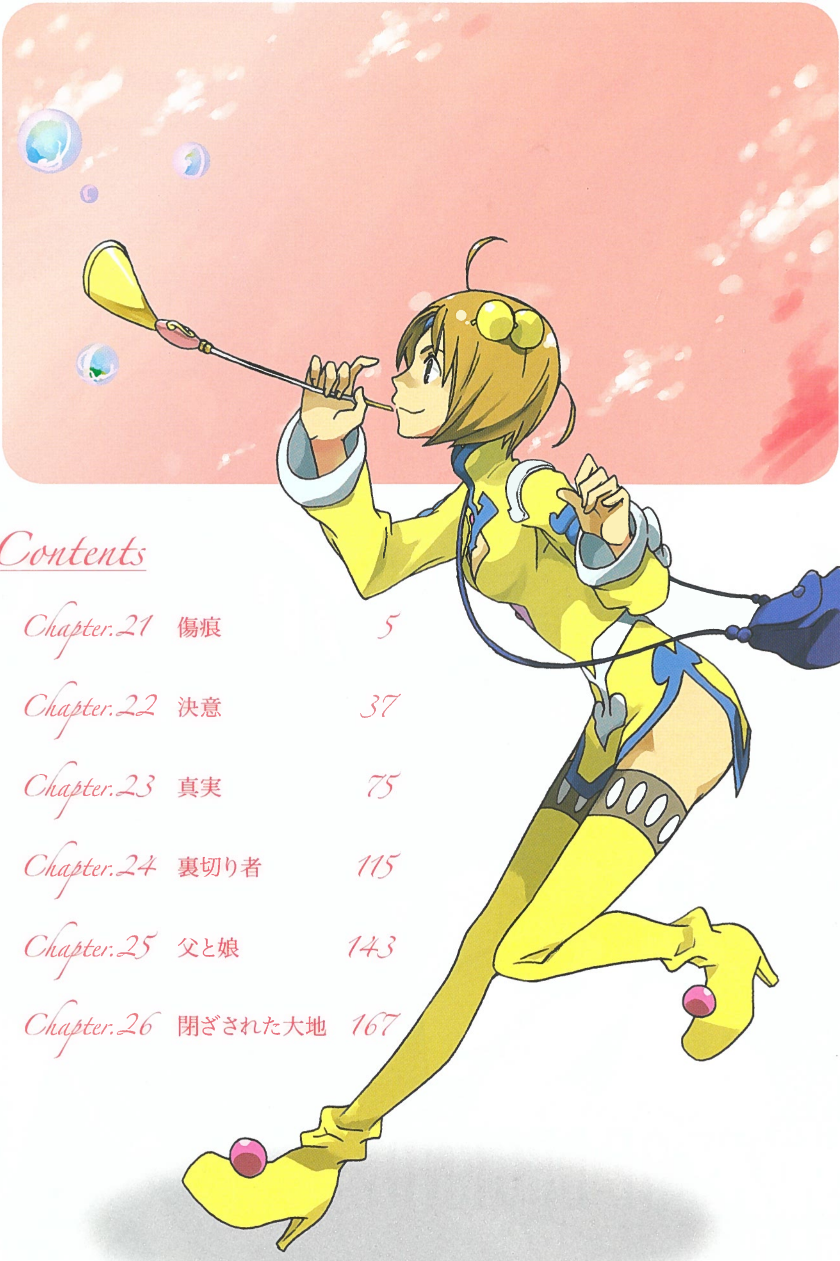
藤村あゆみ

AYUMI FUJIMURA

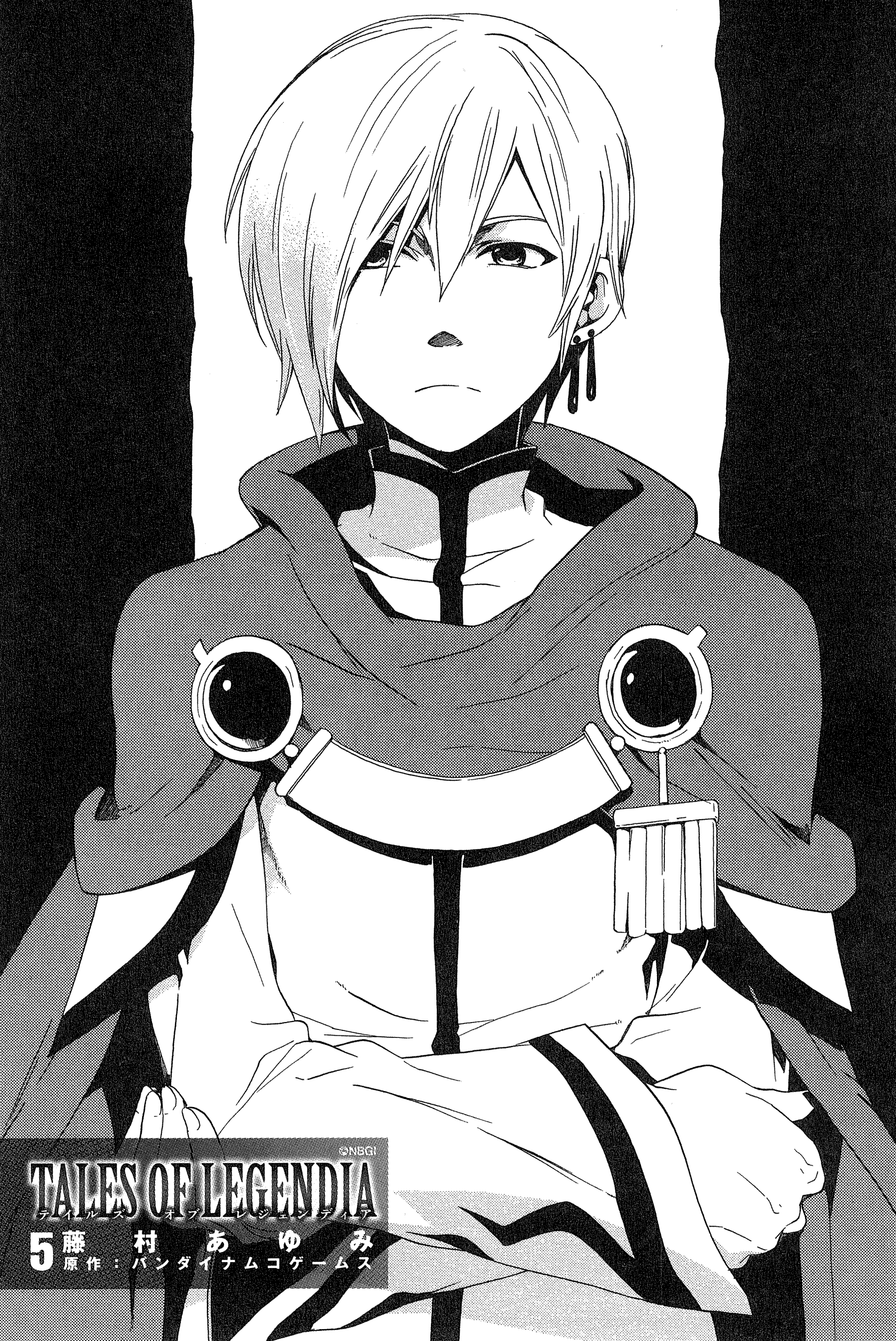
セネルと水の民の人たちとの
距離や関係の微妙で危うい感じが
とても好きです。


TALES OF LEGENDIA
テイルズ オブ レジェンディア
5
藤村あゆみ
原作:バンダイナムコゲームス
©NBGI
REX COMICS
テイルズ オブ レジェンディア
原作:バンダイナムコゲームス

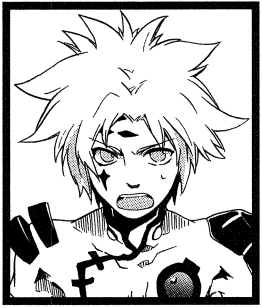

TALES OF LEGENDIA
テイルズオブレジェンディア
©NBGI
5 藤村あゆみ
原作：バンダイナムコゲームス



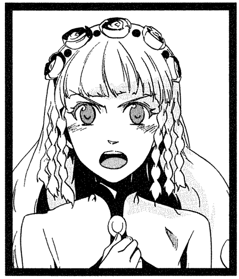
Contents


©NBGI
TALES OF LEGENDIA
テイルズ オブ レジェンディア
5
藤村あゆみ
原作：バンダイナムコゲームス

◇Characters & Story◇



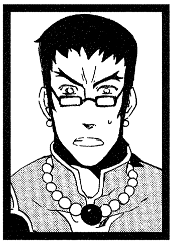
◀セネル・クーリッジ
本作品の主人公で、アーツ系の爪術士。妹を狙う敵から逃れ、彼女を守るために戦っている。



◀シャーリィ・フェンネス
セネルの妹で煌髪人。強大な力を秘める「メルネス」のため、敵に狙われている。



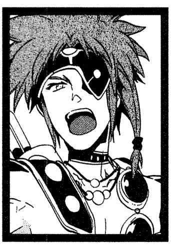
▲ノーマ・ビアッティ
ブレス系の自称・すご腕トレジャーハンター。



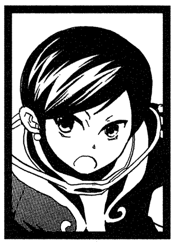
◀ウィル・レイナード
ブレス系の爪術士。ウェルテスの街の博物学者兼保安官。



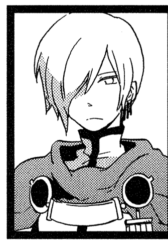
◀クロエ・ヴァレンス
アーツ系の爪術士。騎士の名門の出身。



◀モーゼス・シャンドル
山賊の頭。ヴァーツラフを倒すため、仲間に加わった。



▲不可視のジェイ
アーツ系の爪術士。有名な情報屋として知られる。



▲ワルター・デルクェス
メルネスを守るという使命を帯びて育てられた水の民の青年。

捕らわれのシャーリィを取り戻すため、セネル達は遺跡船の艦橋へ向かった。トリプルカイツとの激闘の末、艦橋最上階に辿り着いたセネルは、ヴァーツラフを打ち倒しシャーリィと姉・ステラを救い出したのだが……。

Chapter.21 傷痕





Chapter.21 傷痕（きずあと）




セネルさんとワルターさんへはあなた達から渡してくれるかしら？


ステラ！
ステラ！
お姉ちゃん!!


ここにいた兵士は技術班ばかりだったようですね
邪魔をしてこないから放っておいたのに…殺せばよかった
装置を動かしている奴はすぐに倒した
どのみち同じことだ
お願い目を開けて!
お姉ちゃん!!


……！
ペンダントが…
ピクッ





……
よかった…
みんな無事？
…ステラ…！
ステラ…大丈夫か!?
ステラのおかげでみんな無事だ！
全部…終わったよ もう安心だ よかった…
今 みんなのところに運んでやるから



セネル
ごめんね…
?
ジ
シャーリィ
あなたの力はみんなを幸せにするためのものよ
お姉ちゃん!?
よかった…最期に話ができて
その石のおかげね…でも…
ステラ？何を…？


ステラ!!!
ジ…
ステラアアアア!!!


ステラ…俺
泳ぐの速くなったんだ
ステラに見てもらうために…たくさん練習したんだ
ステラ…
ごめん…
ごめん…


……
セネセネー
リっちゃーん
俺は
こんなもの…
がんばったじゃん
いーじゃん
もらっと
きなよ！


ちいと癪じゃがワの字にも届けんとな！
その必要はない
ワルター!?
スタッ
ヴァーツラフの残党が見つかった
!
ステイングルも一緒か!?
今 我々の仲間には動ける者が少ない
お前達が来い


ここは…



ピチャ…
ピチャン
ボコ…
ボコッ
うえ…
何ここ…
もともとやつらの拠点のひとつだった場所だ
ここでもたくさんの仲間が殺された
……


書物がたくさん…
何かの記録のようだな


これは…
な…何よこれ!
……
なんじゃ!? 何が書いてあるんじゃ
煌髪人の人体実験の記録ですね
10や20じゃきかないよ… それこそ何百人も


……ステラも…か?
ステラも…なのか!?
こんなところで3年間も!!
実験ってなんだよ!!
何をされた!?
〝メルネス〟を人工的に造りだすための実験のようです
恐らくメルネスに近い力を持つステラさんは…一番――…
――ふざけるな!!
バン
クーリッジ!
こんなもの!!


シャーリィ
シャーリィ


はぁ…
はぁ
――っ
来い…
いやっ!!
いやよ
離して
陸の民なんて
…大っ嫌い…
シャーリィ…


シャーリィ！
ビシィッ
嫌あっ
…ないで…


来ないで…
結局残党ってのはガセ？誰もいなかったし…
情報に誤りがあったようだな
しかしあの砦は今後も監視…書物も処分したほうがいいだろう
何者かの目に入っては厄介になるかもしれん


…
…
そうですね シャーリィさん …いえ
この船を狙う輩は今後も現れるでしょうから
何？ ヴァーツラフ以外で そんなことを 目論んでいる者が まだ いるというのか？
…
どうした？
きゃ…
おやおや… 貴公はもしや ヴァレンス卿の ご息女では？


き…騎士団長…!?
この度の大功見事であった
5年前貴公の父が賊に討たれたときはヴァレンスの威光も地に堕ちたと思ったが
!?


見事汚名をすすいだな
これからも貴公の働きに期待しているぞ
…おい
いいんだクーリッジ
すまない…まだ話していなかったな
聞いてのとおりだ…私は騎士の家系だが家族を賊に殺され家は取り潰されてしまった
本当はもう…私は騎士でもなんでもないんだ


私が遺跡船に来たのは両親の仇を討つためだ
スティングル…か…
私のことはいい それより何故団長が…
彼もまた「この船を狙う輩」の一人ですよ
騎士団長が？まさか
先日陛下の代わりに俺が話をしたばかりだ
あれだけの力を見せつけられたら誰もが遺跡船の力を独占したいと思うでしょう
ましてやガドリア王国は直接被害に遭っている


わかっただろう
ヴァーツラフだけではない
陸の民どもは
皆 我々の力を
利用しようと
する者ばかりだ
今この船には
様々な国の騎士や
諜報員や外交官
いろいろな人間が
入り込み
それぞれの思惑で
動き回っている
メルネス
お前は
陸の民と
行動を共に
すべきではない


我々の新しい住処ではメルネスを迎え入れる準備が整っている
え…
でもわたしにはメルネスの力は…
お前がメルネスであることに変わりはない
俺達の多くが陸の民どもに殺され皆不安がっている
メルネスが村にいることで皆の心の支えになるだろう


あなたの力(ちから)は
みんなを幸(しあわ)せにするための
ものよ――…
お姉(ねえ)ちゃん…
でも…
セネル
お前(まえ)も協力(きょうりょく)
してくれないか
今(いま)この街(まち)は
人手不足(ひとでぶそく)でな
ああ…わかった
私(わたし)も手伝(てつだ)わせてくれ!
スティングルの情報(じょうほう)が
手(て)に入(はい)るかもしれないし
あたしも
手伝(てつだ)ってあげても
いーよ!


住み込み3食付きで♡
目的は衣食住だろ…
シャーリィはこの街にはいないほうがいいかもしれんな
…そうかも…
しれないな…


ザパァ…



Chapter.22 決意（けつい）



メルネス様
メルネス様
メルネス様
我々水の民をどうかこの積年の苦しみから解放してください
シャーリィ
お姉ちゃん
お兄ちゃん


頑張ってね
シャーリィ…
私はもう…
一緒にいて
あげられない
けど
…お姉ちゃん？
…俺ももう
行かなくちゃな
みんなが待ってるし
シャーリィはもう
一人でも
大丈夫だよな
お兄ちゃん…
俺も一緒には
いられないよ



俺は陸の民
シャーリィは水の民
違う生き物
なんだから
はっ

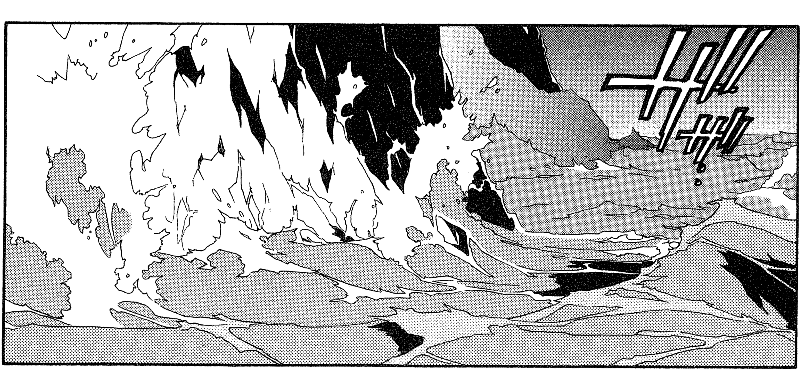

あれ…
ここ…
メルネスが村にいることで皆の心の支えになるだろう
…わかり…ました…
そうだ
わたしは自分で水の民の里に来るって決めたんだ
ガタン
ビクッ
バサバサ…
なんだ鳥かぁ…



しん…
ぞく…
あたしと一緒に連れてこられた仲間は…みんな死んだわ
陸の民なんて大っ嫌い…


今まで何人もの惶髪人を使ってきたが
やはりメルネスでなければ駄目なのだ
10や20じゃきかないよ…
それこそ何百人も
ガタガタ…
はあ…っ




ザ!!
ザ


はーーっ
どうした　ノーマ
それで終わりってわけじゃないんだね
街の様子もずいぶん変わったな
なーんかすっきりしないかんじ…ヴァーツラフ倒して
今までよりもさらにいろいろな人物が住むようになったようだ



今やこの街は
遺跡船の力を
欲する者ばかりだ
そのせいか煌髪人も
以前の住処を捨て
どこか別の場所に
移住したようだ
私達が
してきたことは…
なんだったんだろうな
結局…
ステラさんも
救うことが
できなかった
……


ようウィの字！頼まれもん持ってきたぞー！
あっ
なんじゃワレら シケたツラじゃのう
窓から入ってくるな！
モーすけはいいよね悩みなさそうで
悪いなモーゼス
なあにそれ？


煌髪人の現在の住処の位置だ
聖皇陛下から彼らに宛てた親書をお預かりしていたが居所がわからなかったのでな
なんのこのくらい！
アジトをなくしたワイらがウェルテスで暮らせるようになったのはウィの字のおかげじゃ
このくらい当然じゃ
へーモーすけもたまには役に立つこともあるんだー
たまにはとはなんじゃ
煌髪人の村は結界っちゅうんがはられとって外からは見えんからの
ギートにニオイで探してもらったんじゃ
よし早速向かおう
セネルを呼んできてくれ
ガタ


セネセネも連れて行くの?
? 何か問題でもあるのか?
ウィルっちってそゆとこ結構デリカシーないよね
む。
気まずいんじゃないかなぁ…会うの
お互いね…


ザァァァァ
どうしたのかしら…？


ニコッ
とぉっても悲しそうな顔ね
まるで
この世界をおおっている海とおんなじ


海？
ずうっと昔から泣いてるの…
何故かしらねぇ…
あなたは…？
ザザ…

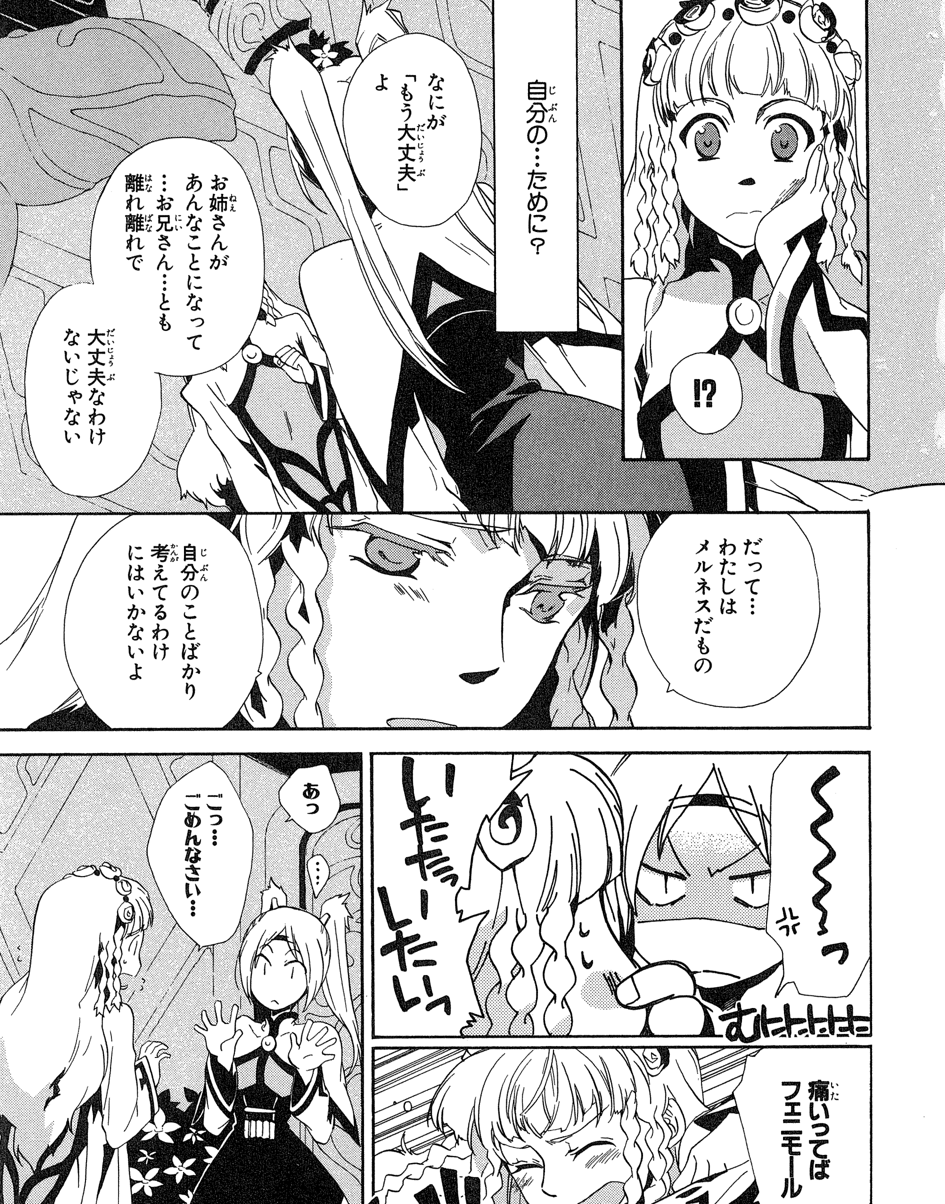

どうぞ
あ
フェニモール！



フェニモール！
無事だったんだ
…よかった…！
あんたは心配
される側なの！
何よ！
こんな時まで！
心配…？
あんた…
ここ来てから
ほとんど何も
食べてないん
ですって？
……
大変…だったんでしょ
いろいろ…
お姉さんの
こととか…
うん
でももう
大丈夫だから


フェニモール
わたし
今度こそちゃんと
メルネスとしての
役目を果たすよ
ごめんね…
遅すぎるかも
しれないけど
…でも
今度は絶対
みんなのこと…
救ってみせるから！


ぽ
フェ…
フェニモール!?
馬鹿ね！あんた馬鹿じゃないの!?
いたたっ…
やっ…やめてフェニモール
あんたなんかこうしてやるわ！
あんたちょっと自分のために泣いた？



自分の…ために？
!?
なにが「もう大丈夫」よ
お姉さんがあんなことになって…お兄さん…とも離れ離れで
大丈夫なわけないじゃない
だって…わたしはメルネスだもの
自分のことばかり考えてるわけにはいかないよ
く〜〜っ
いたーいたいっ
むにーーー
痛いってばフェニモール
ぱっ
あっ
ごっ…ごめんなさい…
…

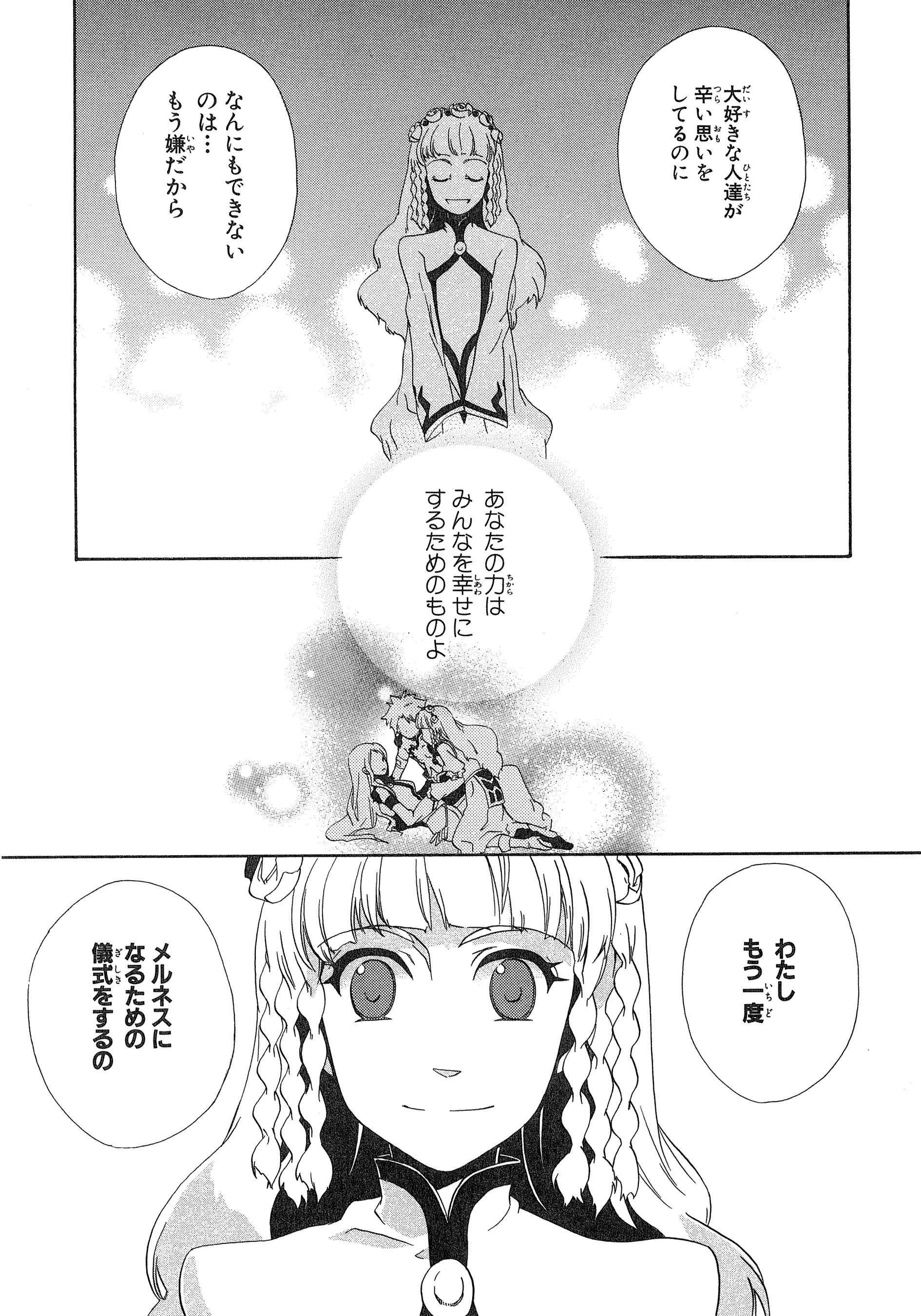

……
メルネス様だなんて言われてたって…
普通の女の子じゃないあんたなんか
?
?
…何よ…知らなかったわよ
普通じゃない
なんにも知らないであたしあんたにいっぱい押しつけてたのね…
フェニモール…
こんな時くらい弱音吐きなさいよ…
馬鹿ね


なんにも
できなかったの
…わたし…
メルネスなのに
わたしが
ちゃんとしてたら
お姉ちゃんは
死ななかったかも
しれない
ううん…
あの時だけ
じゃなくて
最初から
わたしがちゃんと
メルネスとしての
役目を果たして
いたらって
ずっと考えてた
…フェニモールに
言われたからじゃ
なくてね
もうずっと
前から


ありがとう フェニモール 聞いてくれて
なんだかちょっと すっきりしたみたい
お礼なんて 言わないでよ このくらい
あんたには 借りもあるしね
借り?
毛細水道で 助けてくれたでしょ …忘れたの?
あ…あれは…
お礼くらい 言わせなさいよ
あたしは あんたのおかげで 生きてるのよ
ありがと…


そういえば あんた… その服って…
あ…これ?
マウリッツさんが 里にいるなら 水の民の装いにって
ふうん… 髪飾りは いいの?
…これはね… 村を離れてすぐ 泣いてばかり だったわたしに
水の民のものに 似てるからって お兄ちゃんが 買ってきて くれたものなの
シャーリィ
今日いいもの 見つけて きたんだ
あの頃は お金も家もなくて 生きていくだけでも 大変だったのに
わたしのために…
だから これだけは そのまま


怒らないの？お兄ちゃんって言っても
……あたし…
ぎゅ
陸の民はやっぱり嫌い
でも…よくわからないけど
あんたのお兄さんはちょっと違う気がする
ねえあんたこのままこの里で暮らすつもり？
お兄さんと離れ離れになっちゃうのよ？それでもいいの？
フェニモール
わたしねもう決めてるんだ


大好きな人達が辛い思いをしてるのに
なんにもできないのは…もう嫌だから
あなたの力はみんなを幸せにするためのものよ
わたしもう一度
メルネスになるための儀式をするの


託宣の儀式だと？
そうだ
シャーリィが幼い頃一度失敗したメルネスの儀式を今ここで再び行う
今度は必ず成功する
何故そう思う？
…彼女の意志だ
過去の彼女とは明らかに違う
自らメルネスであろうとする強い意志
それに我々水の民の思いを背負って立たんとする決然たる気概がある
陸の民にも随分酷い目に遭わされたようだしな


……
この間の件はご苦労だったな
あと一歩だお前にはもう一つ仕事をしてもらおう
ここが水の民の拠点か…
どうじゃ!
ワイとギートが力を合わせりゃジェー坊の手を借りんでも——…
で!!
どーやって入んの??


まさか…場所だけか？わかっているのは
肝心なところがぬけているな…さすがだ…
は——っジェージェーがいればねえ
ぶっブワッカ言え見ちょれよ
ここにあるのは確かなんじゃ!!
ケッカイとやらには惑わされんぞォ
行くぞギートオオ!!


ザボオーン!
ぎゃあぁあーオオォォウッ
冷たいぞオオッ!!
馬鹿ガミ
そういえばジェイはどうしているんだ?
自分の仕事に戻ったのだろう今や情報屋は大忙しだろうしな
お前達何をしに来た
ワルター…
ミュゼット聖皇陛下から親書をお預かりしている
マウリッツ殿にお通し願おう
誰か助けんかいワレェッ ちょっ… ワレらぁあ無視か
↑モーゼス


帰れ
なんじゃなんじゃ冷たいのう
一緒に戦った仲じゃっちゅうに
水の民以外の人間を里に入れるわけにはいかない
ボタボタ
近づくな
帰れ
メルネスは今託宣の儀式の準備で大事な時だ
託宣の儀式だって!?



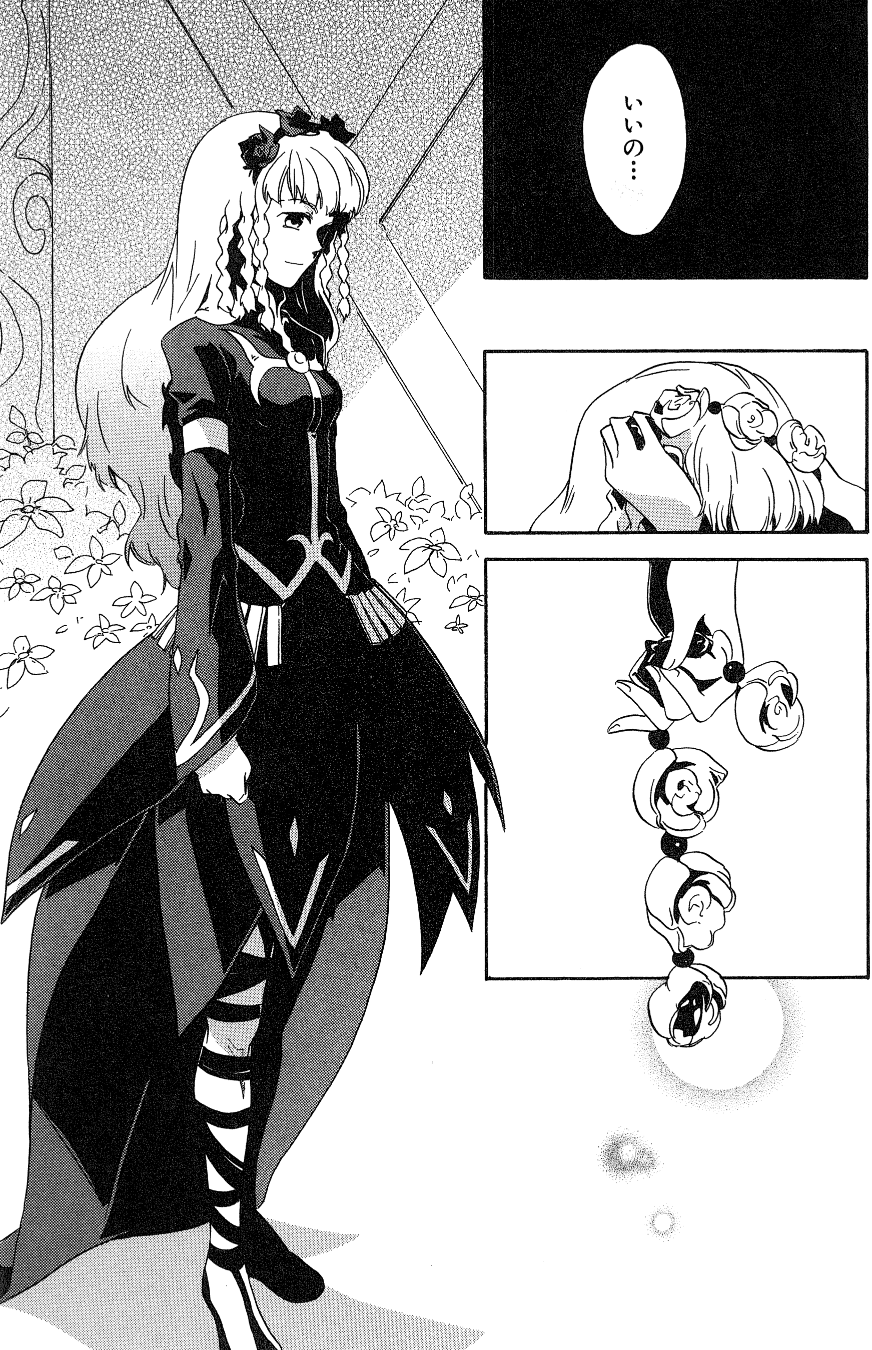
お似合(にあ)いですよ
メルネス様(さま)
やはりメルネス様(さま)は
この装(よそお)いが一番(いちばん)ですわ
?
あ…あの…
この髪飾(かみかざ)りは…
あっ



メルネス様のお飾りはこちらでございますが
……
やめさせろ！
シャーリィは小さい頃あの儀式で死にかけたんだぞ!?
メルネスの意志だ
シャーリィのブローチ…あの高い治癒力を持った石はもうないんだ！
前のときだって…俺とステラがあれを探してこなきゃどうなってたか


ブローチ…
そうだったな…
そのせいで3年前 我々の村が 陸の民どもに 見つかったのだったな
!!!
初めに言ったな …メルネスを 苦しめているのは 貴様だと
ガチャ
シャーリィ… 入るわよ?


フェニモール？
ねえ お兄さんが 近くに来てるって
――！
会わなくていいの？ 儀式の前に ちょっとでも…
メルネス様…
いいの


いいの…


シャーリィに会わせてくれ
中へ通せ！ワルター！

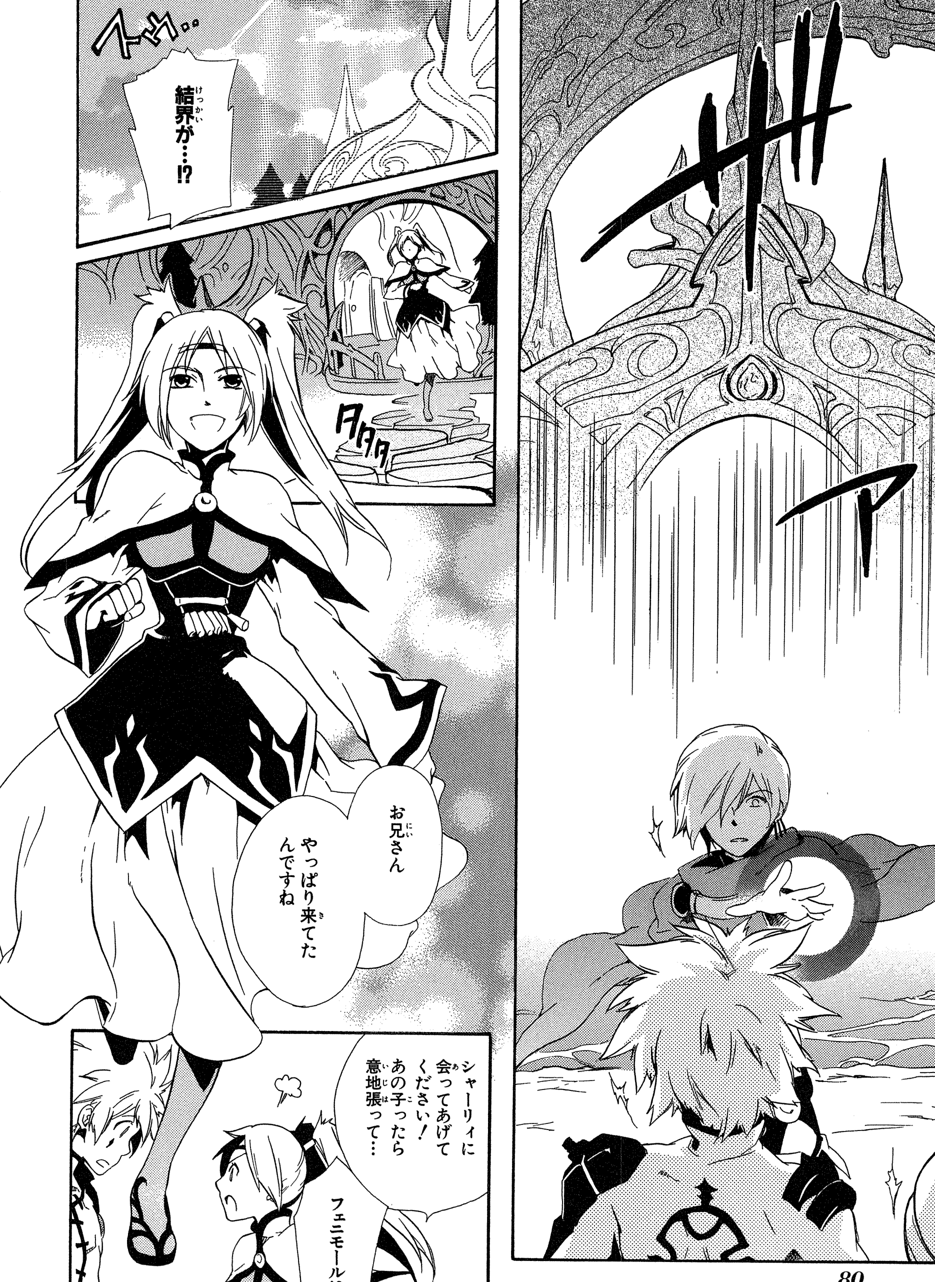

Chapter.23 真実
村が襲われたのは…確かに俺のせいだ
出るなと言われていた結界の外に無断で飛び出した
それだけか?
――?
お前はクルザンド人だという話だったな
その後 同じクルザンドの王子ヴァーツラフの軍が村に攻め込んできた
偶然か?
――!


はいはい
長い話はやめやめ
ノーマ
よくわかんないけど
リッちゃんが
ピンチってこと
だよね？
ぐずぐずして
らんないじゃん
ぴっ
ワルター
お前はシャーリィの
近衛騎士
なのだろう？
シャーリィが死ぬ危険が
あるというのに騎士が
黙って見ているのか？


黙って聞いとりゃ胸糞悪い話しとるのう
ケッカイの外出たんは嬢ちゃんのためにじゃろ？
モーゼス…
村が襲われたんはヴァーツラフの仕業じゃろ
セの字を責めるんがワレの正義か？しょっぽい男じゃのう
そのとおりだ
考えなしのこいつの行動で被害をこうむったことに対しては同情するが
ウィル…
ならば
メルネスの儀式とやらで死にかけたシャーリィを放っておいたほうがよかったとでも言うのか？


そして再び彼女に
そのような危険な道を
歩ませようとしている
オレは…セネルの
シャーリィを救いたい
という気持ちを
優先しよう


Chapter.23 真実
俺達の積年の無念など！
……貴様らにわかるはずもない
ワルター！シャーリィに会わせてくれ！



結界が…!?
タタタ
お兄さん やっぱり来てたんですね
シャーリィに会ってあげてください! あの子ったら意地張って…
フェニモール!?


ナァーイス
フェモちゃん！
えっ
ここで死ね
セネル!!
セネル！お前は
シャーリィの
ところへ行け！
オウ！
こっちは
任せろい！
ばっ
――！
みんな！
俺は…
俺は――


ぐずぐずするな！
手遅れになってもいいのか？
あの時のように！
いったいどうしたんです？
シャーリィのところに連れてってくれ！
早く！


我が母なる海は大いに荒れ狂い
何人たりとも命の住めぬ場所になってより数千年
いよいよだ…いよいよ我々の平穏な暮らしが約束される時代が来たのだ
しん…
待て!!


お前がメルネスか！
やっと見つけたぞ
何者だ
滄我砲を操り我が国・ガドリアを襲ったその罪
我が国の法廷で裁いてくれよう!!
!!?


操るだなんて！
わたしは!!
貴様のおかげで我々の国は存亡の危機に見舞われた!!
なんと恐ろしい力…このまま放っておくわけにはいかぬ
そんな…
そんな！わたしは何もやってない！
メルネスを捕まえよ！
邪魔する者は殺して構わん
メルネス様に近づくな



邪魔だ!!
どけ 煌髪人ども!
メルネス様
お逃げください メルネス様!!
きゃあぁ
やっ
やめて!
やめて やめて やめて!!!


ひどい…
——ひどい!!
どうして!?
あの人もこの人も
どうして陸の民は
わたし達を放って
おいてくれないの
ふん!
相手が人なれば
礼も尽くそうが
貴様らは
そうではあるまい!
その世界を
滅ぼしかねん
恐ろしい力…
脅威は取り
除かれねば
ならん!
神聖なる儀式の場を
土足で踏みにじり
我々を一方的に
加害者扱い…
これが陸の民の
やり方か!
貴様ら
煌髪人は
我々人類の…
——敵だ!


敵？
どうして？わたし達が何かしたの？
ただ静かに暮らせるようにって…
みんながただ平和に暮らせるようにって…それだけなのに
どうして剣を向けられなきゃいけないの!?
兵器を使ったのは同じ陸の民なのにどうしてわたし達が裁かれるの!?
どうして!?
シャーリィ！儀式に集中するのだ
マ…マウリッツさん…でも！
シャーリィがメルネスになれば皆を救えるのだ！


今のシャーリィならできるはずだ
メルネスとしての覚醒を！
わたしが…
メルネスになれば…！
お願い…答えて！
わたしみんなを助けたいの
――を
我が声を


我が声を聞け——！
ドクン
メルネス——
我が意志の交感者よ
我が意志を受けよ
我が怒りを感じよ！



――怒り…？
そうだ
我の怒り
ドクン
我の憎しみ
我の悲しみ
ドクン
我の絶望
ドクン
絶望
絶望
ドクン


きゃあ
……っ
まだ足りぬ…か


シャーリィ！


わああ
なっ…
何よこれ！
おっ…
お兄…ちゃん…!?


モーゼス!?
こらぁ〜!
本気でやったな!!
本当に私達を殺すつもりか!?
ばっ
そちらがその気ならこっちも本気で行かせてもらうぞ!


ダダッ
俺に構っていていいのか？
メルネスを危険に晒すのは俺ではないぞ
クーリッジが向かっている！
ふん おめでたい奴らだ
あの男がすべての元凶だとも知らずに


!?
なっ…
離せ!!
!やめて!
その人は
敵じゃ――
よし そのままだ
…そのまま
取り押さえていろ
マウリッツさん!?
何を――…
よく来てくれた
…待っていたよ
「クルザンド王統国
ヴァーツラフ軍
特務隊員
セネル・クーリッジ」


まさか君がクルザンド王統国のスパイだったとはな



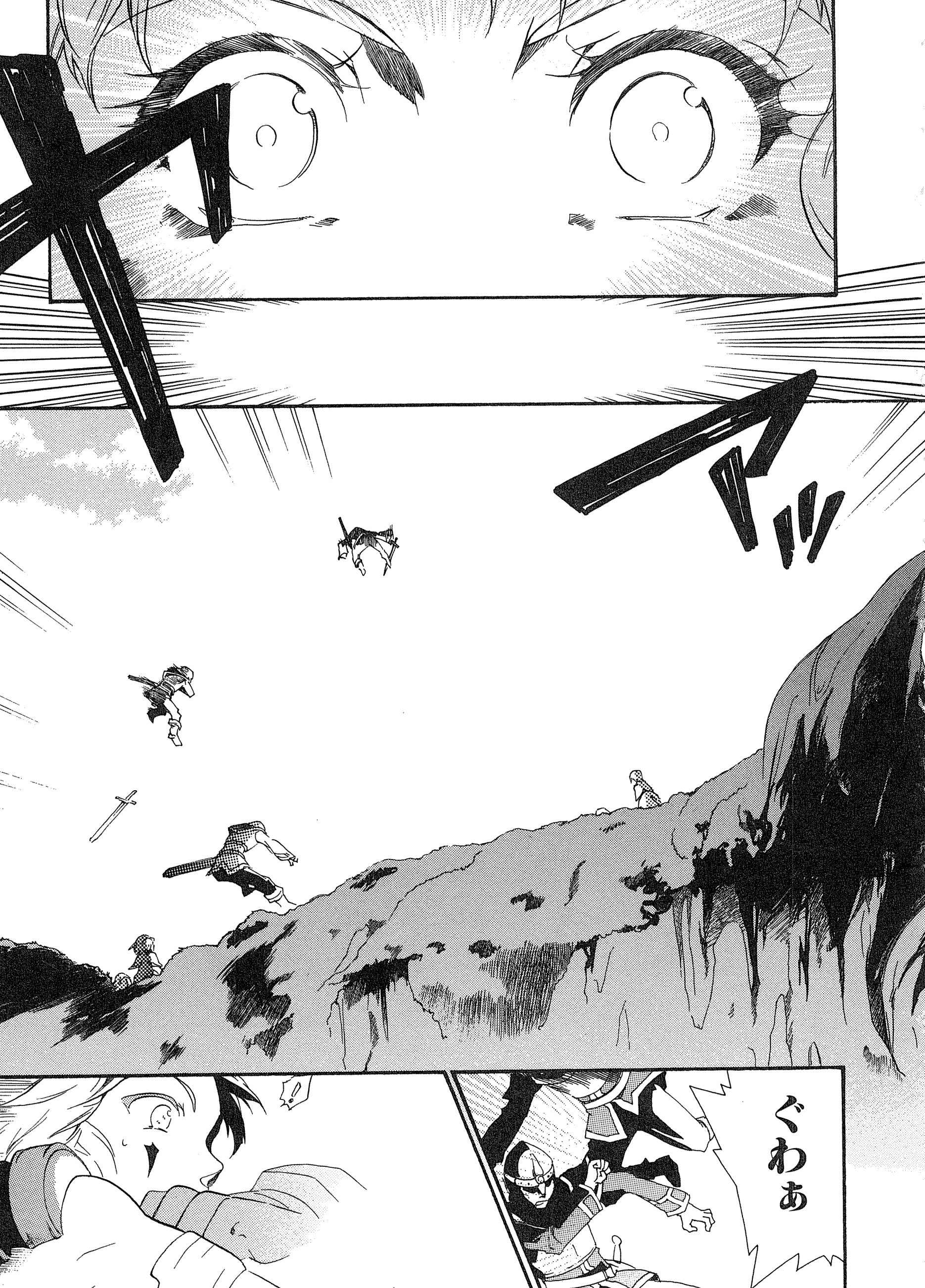
聞こえなかったのか?
なん…じゃと…
あの男はヴァーツラフの命を受け
メルネスに近づいていたのだ!!
うそ


うそ
お兄ちゃん
うそだよね
どうして
シャーリィ
うそよ
あいつらから
逃げなきゃ！
頑張って…
走ろう
止まっちゃダメだ
シャーリィ
…ごめん
………
…ごめん
うそ
うそ
うそよおっ


我が意志を受け入れよ


!?
ワルちんの髪が！
！
メルネス――…！
ついに目覚めたか！
あっ
ちょ…
ちょっと!?
メルネスとして
目覚めるってことは


お兄ちゃんを…
殺すってことだから…


ぐわぁ


はっはっはっは！
託宣の儀式は成功した！目覚めたのだ!!
ふっ…
大いなる滄我の代行者メルネスがついに目覚めた!!
シャーリィ…
成功…したの？
とうとうこの時が来たのだ!!
我々水の民が4千年待ち望んでいたこの時が！


ひ…ひい！
!?
どういうことだ!?
シャーリィ！
やめろ！
ぐわあああ
シャーリィ


私をその名で呼ぶな
お前達陸の民に滄我の恩恵は必要ない
返してもらおう



な…
なんだ…!? 体から力が抜け出ていく…
貴様はもう用済みだ
消えてもらおう


や…やめて！
ばっ
!?
ぼしゅ

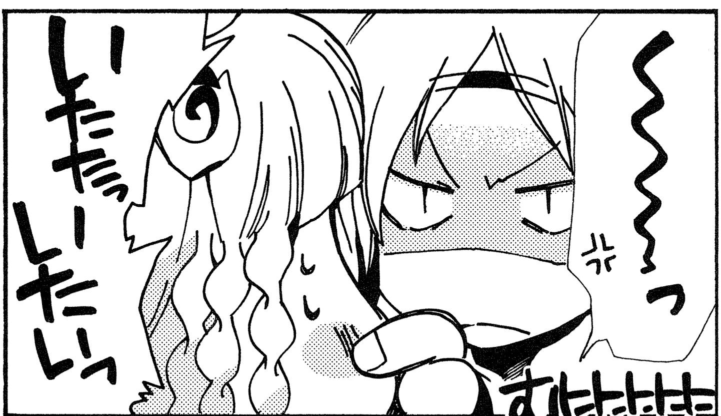

シャーリィ⁉
思い出した…
3年前
どうしてわたしが
儀式に失敗したか
わたしが…
メルネスに
なるってことは



きゃあああああっ
ゴオオオオォォオ
ドォオ…
…陸の民を庇うとは
愚かな…


カッ
メルネスよ
無事の目覚め
お祝い申し上げる
あの男
捜し出して
始末するか?
…
私がメルネスとして
目覚め 滄我が
活性化した今
陸の民が海から
生きて帰る
ことはない…
放っておけ
パァ。。


おお…傷が…
ぱぁ…
メルネス様
メルネス様
メルネス様!!
私は滄我の声を聞いた
これより「王城」へ向かう


くぅ〜っ
いたたっ
いーたいっ


ザあぁあぁ
ゴォォォ
Chapter.24 裏切り者
…けて…
目を開けて


大丈夫?
ここは…!?
きゃ
よかった
こんなところで
倒れているんだもの
びっくりしちゃった
どうしたの?
……
道に…迷って…


それで
勝手に陸の民をこの集落に招き入れたわけだな
ステラ・テルメス
ごめんなさいマウリッツ村長
でも村に入るところは誰にも見られてません
この子にご飯を食べさせてあげてもいいでしょう？
いいだろう
だが君達がしっかり面倒を見なさい
私は手を貸さないいいね？
私 ステラっていうの
あなたは？


セネル・クーリッジだよ
お客さんが来るなんて久しぶり
嬉しいわねぇシャーリィ
シャーリィ!?
あの集落の中にメルネスと呼ばれる煌髪人の娘がいる
名前はシャーリィ
煌髪人は恐ろしい力を持った種族だ
その中でもメルネスの力は強大で奴が覚醒したら我々人類の生命を脅かす存在になるだろう
私達の手でなんとかしなくてはいけない
いいな?
娘を捕えよ!
それがお前の我が軍としての最初の任務だ
……
人類の生命を脅かす?
そんなふうには見えないけど…
コクン


…おいしい…
よかった!
ごめんね ここあんまり いいものが 採れなくて 少ないけど…
ううん 本当においしいよ
こんなに おいしいスープ 初めてだ!
ふふっ
大げさね セネル
――早く帰らないと おうちの人が 心配するわね
それは 大丈夫
俺 家族がいないんだ …戦争でみんな 死んじゃったから


じゃあセネルは
ずっとひとりなの?
うん
ひとり…
寂しくない?
寂しい?
わからない…
家族の顔も
覚えてないし
俺がずっと
小さい頃に
いなくなっ
ちゃったから
ねえ
セネル
私達と一緒に
住まない?
ええっ!?
私とシャーリィも
お父さんとお母さん
がいないの



私達家族になるの
素敵よ きっと！
そのほうが攫うチャンスがたくさんできると思った
断る理由はなかった
一緒に生活を始め 実際チャンスは何度もあった
もう一晩だけ もう一晩だけ… そんな日が何日も続いた
また今度にしよう
いろんなことを知った
できたてのご飯の味とか 家の中が温かいこととか



煌髪人が
俺が聞いてたものと
全然違うとか
やめて
お兄ちゃん!
えっ
プチッ
あっ
あーあ
羽が折れちゃったな
綺麗だったのに…
また獲って
やるからさ
ぶんぶん
……
この子
もう飛べない
死んじゃうんだ
かわいそう…
はっ…
ごめん…
獲ってあげたら
喜ぶと思って…
どうしてこんなことで
泣くんだろう
ごめんな


ごめん
シャーリィ…
私をその名で呼ぶな
シャーリィ
ザばっ
きゃ…


あ…あれ…？
よかった…目が覚めたんですね
ここは…？
忘却の祭壇…シャーリィが儀式をしてた場所の崖下です
そうだ…俺 海に落とされて…——シャーリィ!?
シャーリィは!?
シャーリィは…メルネスとして目覚めました
多分…今は「王城」へ向かっています
王城…？
それは…いったい——
す…


あらあら セネルちゃん 起きたかしらぁ？
!!?
あなたは…
よかったわねぇ フェニモールちゃん
この人が溺れてるあたし達を助けてくれたんです
こ…この人が？
あなたは…この間会った…
？



あれ？
覚えてない？
それより たぁいへんよ
ほんわ～
みんなの街がわいわいがやがや…と～っても楽しそうなの
楽しそう？


水の民が…!?
街が囲まれてるぞ
いったい何をしてるんだ…
楽しそうねぇ〜お姉さんも混ざっちゃおうかしら
楽しそうなんだ…
セネル!
——みんな
無事だったか
何が起こってるんだ?
わからない…私達が戻った時にはこの有様…
ん?


クーリッジ…
その女の人は…誰だ…？
ええのう…セの字
この混乱の最中新しい女を見つけてくるとは…
こいつ…やりおる
そんなわけあるか!!?
さっき助けてもらったんだ名前も知らない
おねーさん名前なんてーの？
名前…？
うーん
なんだったかしらぁ？
ぽ


ひそ ひそ ひそ
だ…大丈夫かのう あの姉さん
自分の名前がわからないのか?
記憶喪失というやつかもしれんぞ
ともかく今は一人でいるのは危険だ 我々と一緒に行動していただこう
ガサッ
それで
フェニモールさんのほうは何故セネルさんと一緒に?
ジェイ! お前も来てたのか
ちょっと情報を探りに煌髪人の村を張っていたら
煌髪人に追われてぼろぼろになってるモーゼスさん達に出くわしましてね
ぼろぼろと違うわ!!!
こげな時だけ代表扱いすな
ぷぷ



だがジェイの煙玉がなければ逃げ切れなかっただろうな
そうだな…爪術が使えない今煌髪人に狙われたらおしまいだ
爪術が使えない!?
よくわかんないんだけど
急に脱力した感じがしたと思ったらみーんな爪術出なくなって
煌髪人みーんな髪の毛光っててすんごい爪術使っちゃって全然歯が立たなくって
脱力した感じ…
陸の民に滄我の恩恵は必要ない
返してもらおう
それはメルネスが目覚めたからです


もともとあなた方の「爪術」という能力はあたし達水の民のテルクェスと同じ力…
これは「滄我」の力が源です…本来水の民しか持ち得ないものでした
シャーリィがメルネスとして目覚め…長年眠っていた「滄我」が活性化し始めた…
何故陸の民がこの力を得ていたのかは定かではありませんけど
「滄我」の力を本来あるべき状態に戻したんだと思います
滄我っていったいなんなんだ？
滄我は海です


この世界を被っている
海そのものです
——…海…!?
あたし達水の民を生んでくれた存在でもあります
「滄我」の意思によってあたし達水の民の行動は決定されます


その「滄我」の意志の代行者がメルネス…シャーリィというわけか…
んで滄我ぽんは何しよーとしてるのかな
あたしもそこまでは
滄我の声はメルネスしか聞くことができないんです
今の煌髪人の行動を見るに
ぼくたちにとってあまりよくない状況でしょうね
それで
煌髪人であるあなたがメルネスの元を離れぼくたちと一緒にいる理由は？
——シャーリィが
何か恐ろしいことをしようとしているのはわかります



あたし…メルネス様が現れたらすべてうまくいくって思ってた
陸の民に虐げられることもなく平和にすごせるようになるんだって…
でもこんなの違います
こんなの……違う！あの子の意思じゃない
お兄さんシャーリィを止めさせてください！


俺には……できないよ
えっ
俺にはシャーリィのところに行く資格なんてない
ずっと騙してたんだ
シャーリィの集落が襲われたり
ステラが死んだのは俺のせいなんだ
聞いてくれみんな…
俺は——


ヴァーツラフのスパイだった…んですよね
!!
もう全員知っています
ぼくは独自のルートで調べましたが
煌髪人の村にぼくがいたのはそのためです
みなさんはワルターに聞いたようですね
みんな知らされてたのか…
なのにどうして…!
責めない…のか?
見くびるなよクーリッジ


お前の今までのシャーリィや…ステラさんを救おうとしていた行動に
気持ちに
偽りがあったと私達が思うと思うか？
いったいどれだけ共に行動してたと思っているんだ



でも…俺は……
俺は——…
アニキ!
アニキ!
!
チャバ!?
無事だったんか!
街ん中は
どうなっちょる!
見てのとおりですよ
煌髪人達が
突然街を取り囲んで
身動き取れやしません
…どうなってるんですか
街の爪術士も
急に力をなくし
ちまって誰も
逆らえないし…
爪術が!?
…オレ達だけでは
なかったか…
少なくとも
遺跡船内の
爪術士は
今はただの
人間になっている
と思ったほうが
よさそうだな


あんたはどーやって街から出てきたの？
抜け道があるんです
あの灯台の下あたりです
詳しい状況を知りたい
ひとまず街へ入ろう
おう
ほれ何しとんじゃい
行くぞセの字！
静かにしてくれよ？
あいつらにバレてない抜け道はここだけなんだ


ザザザッ
!
ウィルっち
危ない───…
む
くるっ
ドガ
ちーーーん
ぐおおおおお
あ…
ゴメン…


おっ
ワレ
逃げんなぁ！
きゃあっ
ん？
ワレ…
どっかで…
ちょっと！
また
あんたなの!?
ハティの邪魔
しないで！
離しなさいよ！
この変態！
だぁあれが
変態
じゃあ!!
二人とも
口を閉じて
ください
殺しますよ…


ハリエット…!?
ん?
どうしてここに…
ふん
気安く呼ばないでよね
裏切り者!


大陸
海が荒れているぞ
いつものことじゃないか？
違う
これは…いつもの海じゃない
まるで…海が生きてるようだ…
Chapter.25 父と娘


Chapter.25 父と娘


裏切り者…？
知り合いか？
レイナード
ハリエットは…
オレの娘だ
娘…？
だって…？
ウソだ！
嘘だっ
うそだっ
本当だ!!
ウソじゃ
何故だッ!!



久しぶりだな…なぜ遺跡船に…
久しぶり？違うわ
「はじめまして」でしょ
わざわざ大陸から来たかいがあったわ
ようやく犯罪者の顔が見れたんだもの
ウィルが犯罪者？
一人で来たのか？
どうやってここまで？今この船は危険な状態だ
どこかでおとなしく…
何？今更父親気取り？誤解するんじゃないわよ
あんたに会いたくて来たんじゃないわ
ハティはあんたのことなんかどうでもいいんだから！
でもママは…ママは…
あんたにずうっと会いたがってたんだから！
ギュ
それなのに…お葬式にすら来ないなんて！


しずかに!!
す…すまん
…騒いですまんな
街へ急ごう
話は後だハリエット
状況報告ご苦労様
ウィルさん
とにかく街の住民を落ち着かせることから始めよう
いつまでこの状況が続くともわからん
無駄な体力は使わんほうがいい
煌髪人を刺激されても危ないしな


連絡網を設けよう
各地域をまわり一軒ずつ状況を伝える者4名
噴水広場と灯台前の公園で呼びかける者
宿屋・病院への通達
それから掲示も忘れるな
モーゼス！山賊たちの力を借りれるか？
てきぱき
てきぱき
オウ
ウィルさんが戻ってきた
よかった
やはりウィルさんが指揮を取ってくれると心強いな
むーっ
犯罪者のあいつが遺跡船じゃ保安官気取り？
バカみたい
そんな言い方ないでしょーが
いたたた！
いたい〜っ！


ピッ
ばしっ
ばか！触らないで！
!!
いーーだ
くそガキ
ハリエット
お前はここで預かってもらうことになった
しばらくの間おとなしくしていろ
何よそれ！勝手に決めないで！
ハティのことどうこうする権利なんてあんたにないんだから!!
ダッ
ハリエット!!!
ギートを見張りにつけちゃる
なんかおうたら知らせるわい
…すまん…


難しいことになっているようね
はい
煌髪人の目的について一刻も早く調べを…
いいえ
あなたのことよ ウィルさん
さて
調査はもちろんだけれど
爪術を取り戻す手立ても早急に考えなくてはね
そうですね… ぼくたちは爪術を取り戻す
あるいはそれ以外で煌髪人に対応できる手段を
煌髪人の動きはモフモフ族のみんなに調べてもらいましょう
よし解散だ みんな頼むぞ
フェニモールさん
何が起ころうとも
一度は手を組みともに戦ったあなた方と争うようなことはしたくありません



同盟を組むことになった夜
あなたが言っていたこと覚えているかしら？
人それぞれだって言ったの…
そう言ったシャーリィのことは
あたし信じようと思います
あなたのような人がいるから
話し合いで解決できると信じられるわ
……！
は はい…
爪術について調べるっつっても
いったいどこから手をつけていいやら


……
あたし達水の民に恩恵を与える「滄我」とは別に
遺跡船にはもうひとつ別の「滄我」が存在していると聞いたことがあります
!!
もうひとつの滄我だと？
はい…その滄我に恩恵を求めることができれば…あるいは…
だがどうやって？
あたしも話に聞いたことがあるだけで…すいません
ただの言い伝えかもしれないし…詳しいことは何も
「滄我」の恩恵である爪術に…
煌髪人が「滄我」の意思に従って行動していること
もうひとつの「滄我」の存在…
オレ達は「滄我」についてもっと知る必要があるな


ぎくぅっ
なによっ
なによなによなによなによ!! あいつっ!!
ハティがせっかく!
わざわざ!
こっちから!
出向いてあげたっていうのにほったらかし!?
ビクッ
父親のクセにいなくなったハティを捜そうともしないの!?
最低! 最悪!
来るんじゃなかった!
あのバカ! 犯罪者! メガネ!!
なーんか 言うちょるぞ …ウィの字…
……
ハリエットのことはギートに任せている
気にするな …オレ達はオレ達で行動を開始せねば


わかった
セネルとクロエとオレは聞き込み
はーい
モーゼスとノーマとジェイは各々の遺跡船の知識を活かして滄我について調べてみてくれ
フェニモールもな
え〜っと…
あっ
えっ!?
グリューネ
思い出したわぁ
わたくしグリューネっていうの♡
な…名前か…
ええと…
グリューネさんはお昼寝でもしていてください…


ウィル！
いいのか？
あの子
家族…なんだろう
…本当の
「裏切り者」
「犯罪者」…
あいつが言っていたことは本当だ
何も…申し開きをするつもりはない
まあいいわ
ハティはあんな奴に会うためにここに来たんじゃないんだから
ねぇワンちゃん
このお花どこに咲いてるか知らない？
？



アニキ!
アニキ!
モーゼスさん!
長く留守にしてすまんかったのワレら!
モーゼスさんも…爪術が…
ああ
「伝説の聖爪術」っちゅーもん求めて遺跡船に来たっちゅうに
爪術すらなくしちまうとはの…
一刻も早くこの状況を打開せなアカンぞ!
ワレらの力借りるぞい!
オウ!
ア…アニキ…
ン?
だいじょうぶですか?
アニキの爪術がなくなったってことは…
ギートが…
…わあっちょる…


ふう…
知らないよな 滄我なんて …水の民に近い俺や フェニモールが 知らないのに
…シャーリィ…
ステラと 合流するまで この家で暮らそう
だいじょうぶ… ステラならすぐ 追いついてくるさ
お兄ちゃん…
…どうして わたしにここまで してくれるの…?
本当の… お兄ちゃんじゃ ないのに
お前のおかげで 村の場所を 特定できた
よくやったな
俺が…


俺がシャーリィを守るのは当然だろ
お前の今までの行動に偽りがあったと…
私達が思うと思うのか？
偽り…
罪滅ぼしかもしれない
きゃあっ
!?


ったた…
あっ
お花…
壊れちゃった…
ママの形見なのに…
どうしたんだ?
きゃっ
あいつの仲間ねっ
来ないでよ!
言いなりになんかならないんだから!
仲間…か
どうかな
……!
ウィルのことつけてたのか?
その花…
髪飾りだったやつか?
……うん…
見せてみろ


ほら
直ったぞ
わーーっっっ
ありがとう!
ありがとう!
お兄ちゃん…
えーっと…
俺はセネル
ハリエット…
だっけ?
ハティでいいわ
ママはそう
呼んでくれたの
ねえ
セネルくん
このお花
なんていうか
知らない?
造り物じゃない
本物のお花!
この船にしか
咲いてない
らしいの
ウィルに聞けば
わかるんじゃ
ないか…?
いや! あんな
やつに頼ったり
しない!
博物学者だろ
?


ウィルのこと…
どうしてそんなに
悪く言うんだ？
だって！
あいつは裏切り者だもの
裏切り者
ドキ
あいつのせいで
ママは死んだの！
ママはね
体がとっても
弱かったのよ
お屋敷から
出ることもでき
なかったママを
あいつは攫ったの！
お祖父様が
連れ戻して
しばらくして
ママは死んじゃった…
あいつは一度も
会いに来なかったわ
だいじょうぶ
きっと来てくれるわ
ママは…
ママはずっとあいつに
会いたいって
思ってたのに


何か…わけがあったんだと思う
わけなんてあるはずない!
あいつはママのこともハティのこともどうだっていいんだわ!
会ってわかったもの
あいつはハティが邪魔なのよ!!
ウィルはそんな男じゃない!
言いすぎだぞ!
ビクッ
だって…
だって…
セネルくんのバカッ
ダッ
ハリエット!
ピク


タッ
ガリ
ガゥガゥ
ギート!?
おい
ウィの字…!
おチビちゃんが一人で灯台のほうへ…!
!!?
ざわ
?
騒がしいのう
ざわ
これは…
バカな…
ざやざゃ


灯台の入り口が開いている…!?
何これ どーなってんの!?
ノーマ!
灯台の入り口…? そんなに驚くことなのか?
今まで一度もなかったことです
開け方すら誰も解明できなかった
ウィル! ハリエットがその中に──……
よーしっ
いっちょ中まで入ってみましょーか!
ずずいっとね
トレジャーハ
ターの
血が騒
ぐっ
ノーマ!
爪術が使えないことを忘れたのか!?
中に魔物でもいたら… なあレイナード?

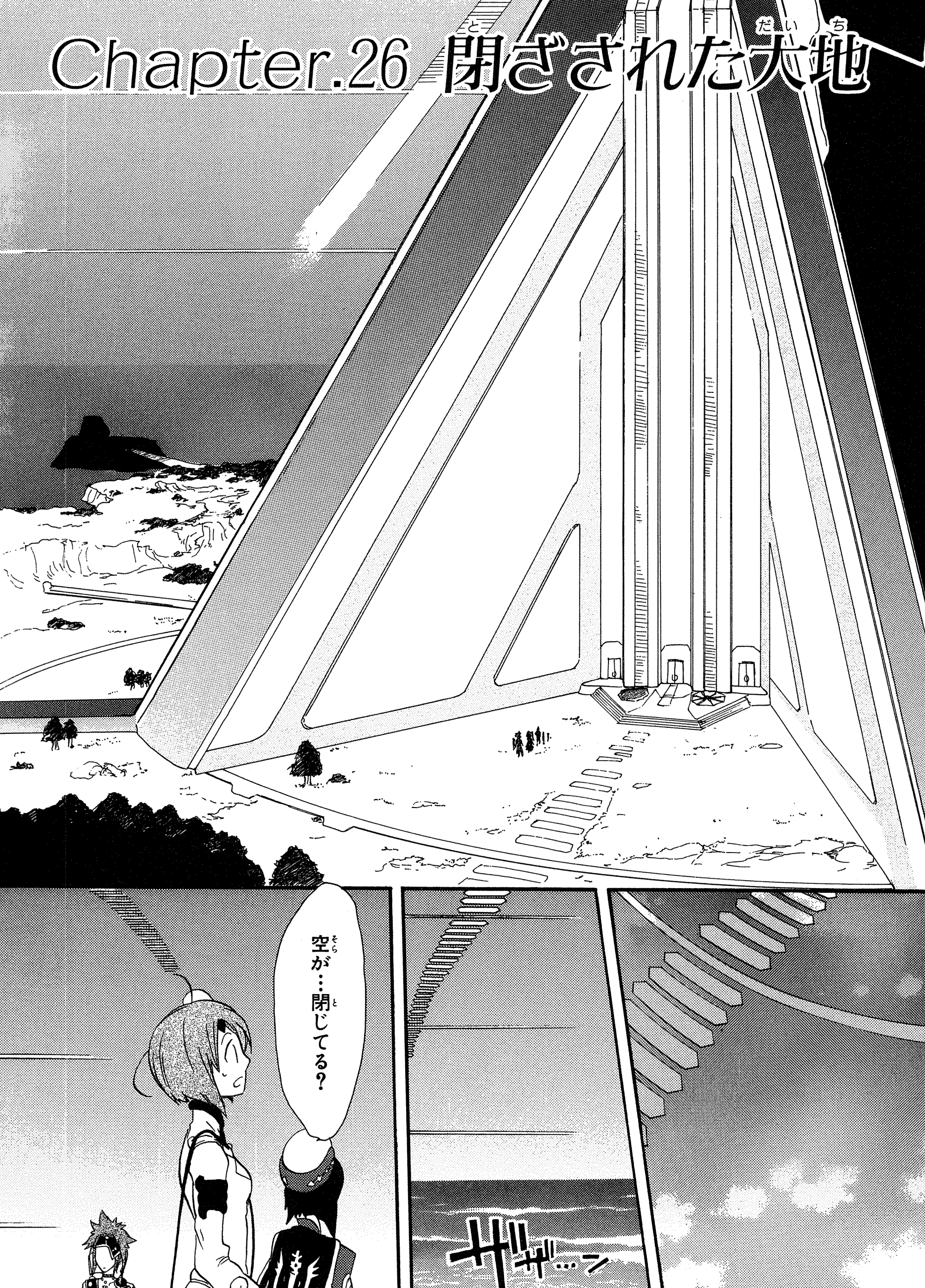

ハリエット!!
ダッ
そーれ行け続け～!
おーっ♡
コラーッ
まったく…
モーゼスさん何かあったらギートの手を借りますよ
まかしとけ
ダッ
……
中は…ヴァーツラフと戦った艦橋と似ているな…
恐らく遺跡船の中でも同じ時代に創られた場所なんでしょう
ハリエット!どこにいる!!



行き止まり…？
カチッ
ガゴン
ヒュィイイ
ィィィィィ
!!?
ゴオォオォ
なっ 何これぇっ!?
きゃあああああああ
オオオ

Chapter.26 閉ざされた大地




Chapter.26 閉ざされた大地
空が…閉じてる？
ザザ…ン


なんなんだ ここは？
あそこから降りてきたようですね
街の灯台の下にこんな空間があるとは…
海…？
ザザァァ
ハリエット！どこだ!?
ワウ！
こっちじゃ


もしかしたらハティの探してるお花…ここにあるかも！
見たことない植物がいっぱいあるもの
何かしら ここ…？
不思議なところだわ
なんだ ここは…
古刻語でもない…なんだろこの文字
わからないことだらけだ
みなさん慎重に進みま…
ゴォ
オッ
だめだこりゃ


行き止まり？
小さな穴があるぞ
ハリエットの大きさなら通れるな…
この先に行ったってこと!?
爪術があればこんな植物一掃できるけど…
ずしっ
ガッ
おっ…おいウィル!?
お前達は下がっていろ！見たこともない植物だ毒があるかもしれん！


うおおおおおおおお
植物バカのウィルっちが未知の自然を破壊するなんて…
信じられん
セネル
手伝う
腕力なら俺の出番だろ
毒はないようだ…すまんな こんな時に余計なことに巻き込んで
…ありがたい
オレは…わけさえ話していないのに
ウィルが家族のためこんなに必死に頑張ってる
わけなんか聞かなくたって俺が手を貸す理由は…
それで十分だろ



ウィル達が俺に言ってくれたこととおんなじだ
ここで行き止まりかしら
なかったなぁ…ママのお花
この花はねハティのパパとママの思い出のつまった大切なお花なの
遺跡船でしか咲かないのよ
いつかハリエットにも本物を見せたいわ
ママと…パパの…
ぶんぶん
あんなやつパパでもなんでもないんだから!
ハティはママのために——……
ハリエット!!



なっ…なんで来たのよ！
ついて来ないで！
不用意に知らない場所に入るな！危険な所かもしれん！
さぁ 戻るんだ!!
何よ！ハティが何しようと勝手でしょ
一度も会いに来なかったくせに！今更 父親顔しないで！
それは…
ハティは忙しいの 放っておいてちょうだい
……！
まさか花を探しているのか？
…うん…
花だと？
そ…そうよ
ママの…


バカ者っ!!!
そんなもののために危険を冒してこんな場所まで来たというのか!!
軽率にもほどがある！今すぐ帰るぞ
な…な…っ
パパとママの思い出が詰まった大切な――…
そんな…もの…？
このお花は…ママがずっと大切にしてたのに
あんたとの…大切な思い出のお花だって…ずっと…！
!?


なのに「そんなもの」ってなに!?
やっぱりママのことなんかどうだってよかったんだ！
ずっと言ってやりたかったの
あんたのせいでママは死んじゃったんだから
無責任男！
どうしてあんなに優しかったママが死んで あんたみたいな冷血男がのうのうと暮らしてるのよ！
…どうして!?
ママじゃなくてあんたが死ねばよかったのに!!


ズル
コツ…ン
どうしてそんなこと言うんだ
せっかく会えたんじゃないか
もう…たった一人の家族なんだろ?
死ねだなんて簡単に言うもんじゃない
死んでしまったらもう…会えないんだから
クーリッジ…



ーーっ
ぽろ
ぽろ
ぽろ
だって…
だって…
ここに来るまでウィルがどんなにーーー…
ポン
ウィル…
止めなくていい…
だってウィルは…
セネル…
貴様…
あれっ？
ザーーッ
貴様ーーっっ
オレの娘を泣かせるとはいい度胸だ！
おっ　おいっ
しかも頭を殴ったな貴様！
セネル！
バカに育ったらどうしてくれる!!
ちょっと待て
俺か!?
俺が悪いのか!!?
あの手見た？
ここに来るまで大変だったんだから
2人共ね
な…なんなの…


子供が危ないことしたら親が怒るのは当たり前
あんた達の間に何があったのかはわかんないけどさ
ちゃんと想われてんじゃん
あのカオ見たら
あんたみたいなガキでもわかるっしょ
だけど…
ハリエエエーーット!!!
大丈夫か!? 腫れてないか!? 見せてみろ 今ブレスで治してやる!
ちょっとウィルっち…爪術使えないの忘れてる…



ぱぁぁ
あぁ
あぁっ
!!?
爪術が…
パァァ。。
戻った!?
うそ…ウィルっちの手が光ってんの…あれ爪術だよね!?
よし ハリエットの無事は確認できた
さわやか
戻ろう!
気づけ!!


使える…
使えるぞ
どーなってんの!?
もうひとつの滄我…
まさか!
おおおっしゃーーっっ
これで煌髪人どもと対等じゃ!!
行くぞ ギート!
もうワイらを止めるものは何もないぞォ!
あっ 待ってください

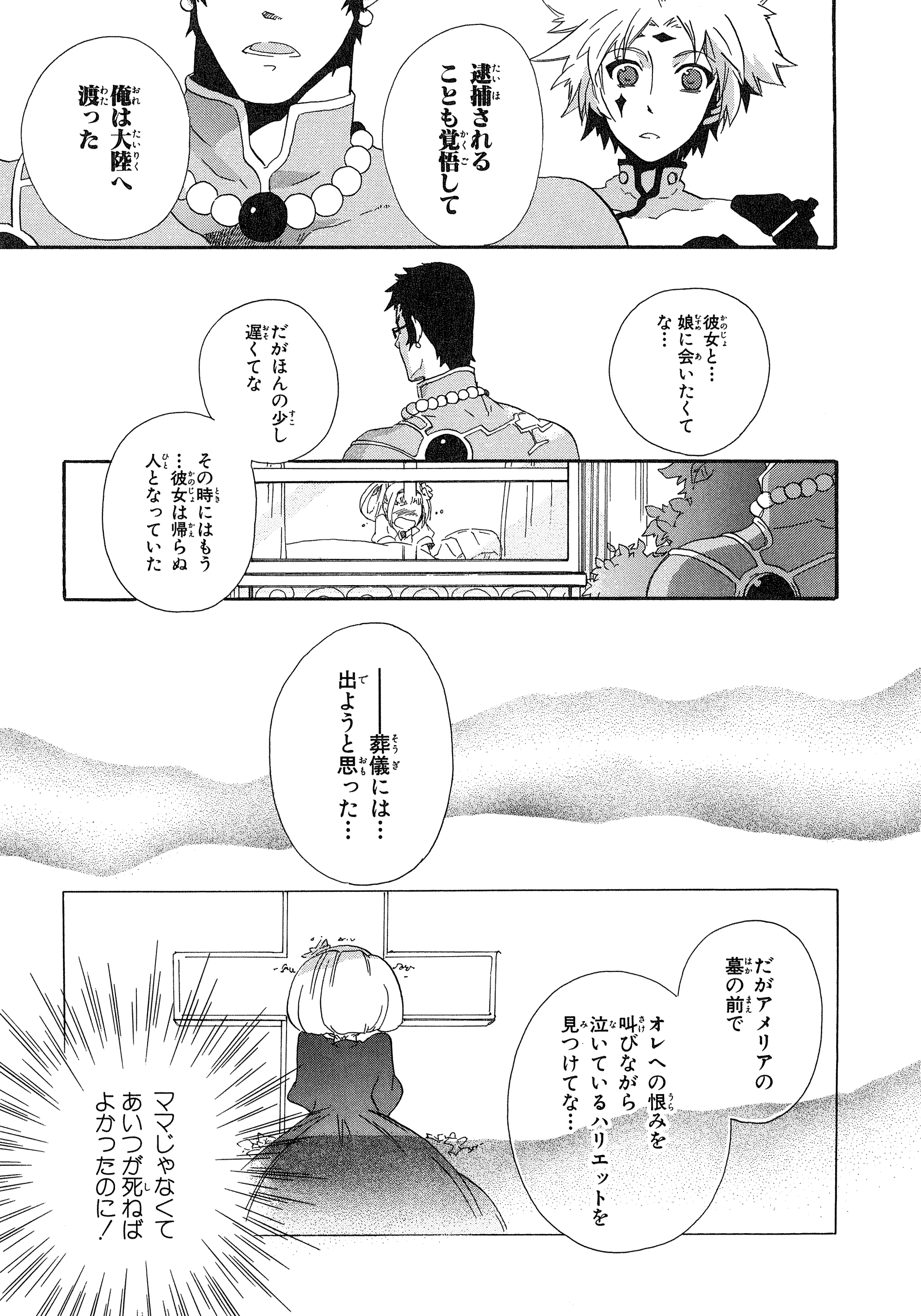

だ…ダメじゃあ…
上に上がった途端
また爪術が使え
のうなりよった…
ヨロ
ヨロ
バカですか
どういうことだ?
もうひとつの海…
もうひとつの滄我
——まさか!
みなさん!
ついて来てください!
言い伝えに
聞いていた
もうひとつの
滄我…
この地下空間の
海がそうなのでは
ないでしょうか!?


これが海!?
ザザザーン
波がほとんどないよ?
こんな海…初めてだ…
間違いありません 海水です
こがあな穏やかな海があるもんなんか…?
ここはいったい…
ここには何か大きな手がかりがありそうですね
怪我の功名…というやつですか
あの親子に感謝しましょう
レイナードのことは前から見ていたんだろう
あ…
私達が初めて出会ったのは随分前だしな
無責任なんかじゃない
レイナードが周りから頼られているところもちゃんと見てきたんだろう?


…おじいちゃんが言ってたわ… あいつはママを攫った悪い奴だって
攫っておいて連れ帰されたらそれっきり
会いにも来ない薄情者だって
ママを捨てたハティを捨てた悪い奴だって…
でも…
会ってみたら全然違うんだもん 想像してたのと全然違うんだもん
わからなくなるじゃない…
どうでもよくないんだったらどうして会いに来なかったの…?
ママやハティのこと心配じゃなかったの…?


……
ついこの間「はじめまして」だったばかりなんだろう
わからなければこれからもっと知っていけばいいんじゃないか?
うん…
博物学者だったオレは大陸では家庭教師をしていた
ザクッ
生徒だったアメリアという女性とオレは結ばれ この船で生活するうち子供を授かった
それがハリエットだ
はじめましてって言ったのは?
ハリエットがまだ生まれたばかりの頃…オレとアメリアは引き裂かれた
彼女は大富豪の娘でな…オレ達の仲が認められることはなかった
駆け落ち同然で遺跡船に移り住んでいたのだ


体が弱くほとんど屋敷を出たことがなかった彼女の
最期の頼みだったのだ…
先生
先生
私 外の世界を見てみたいんです
お願い先生
私をここから連れ出してください
アメリアと引き裂かれた後もオレは貴族令嬢を誘拐した犯罪者として国を追われ遺跡船に追放されていた
マダム・ミュゼットの計らいで今は街の保安官として暮らしているが
それで…奥さんの死に目にも会えなかったのか…
行ったよ


逮捕されることも覚悟して
俺は大陸へ渡った
彼女と…娘に会いたくてな…
だがほんの少し遅くてな
その時にはもう…彼女は帰らぬ人となっていた
――葬儀には…出ようと思った…
だがアメリアの墓の前でオレへの恨みを叫びながら泣いているハリエットを見つけてな…
ママじゃなくてあいつが死ねばよかったのに!


会いに行く…勇気が出なかった
今でもどう接するべきかわからん…情けないいな
ハリエットも寂しかったんだろうな
一人で遺跡船まで来るぐらいだ
それは花を探しに…
ウィルは知らないだろうけどさ ハリエットは前からこの船にいたんだ
何!?
ウィルのこと…影からこっそり見てたんだよ
いきなり全部はうまくいかないよな
でも
ウィルならきっと大丈夫だ


ザー…ン
そういや
ウィルはあの花知らないのか？ハリエットが探してた…
知らんはずがない
まさかあの花を探していたとはな
…オレとアメリアが遺跡船で発見しオレ達で名付けたとても大切な花だ
アメリアと…ずっと守っていくと約束した…
名前は――…
ねえ先生…
名前考えてきた？


ハリエット
いつか本人に言ってやれよ それ
先生…
先生…約束してください
この花を守ってください
…私が死んでも ずうっと
ずうっと
私達の大切な「ハリエット」を…



初出・月刊ComicREX平成19年11月号～平成20年6月号



テイルズ オブ レジェンディア⑤ おわり

あとがき



テイルズオブレジェンディア5巻を読んでいただき
ありがとうございます！
ヴァーツラフとの戦いも終わり、ひと安心かと思いきや
まだまだセネルたちの困難は続きます。
このあたりの展開、ゲームをやっていて特に好き
だったトコロなので、どうやってコミックで描いて
いこうか、毎回楽しく考えています！
それではまた次巻にてお会いしましょう!!
うずらあゆみ.

Special Thanks♥
☆川さん・Dキッサンさん・えくぶち
ふみさん・あやちゃん・ナナコ
きしろさん・みずさわさん・なつき



REX COMICS

テイルズ オブ レジェンディア⑤

著者　藤村あゆみ

原作　株式会社バンダイナムコゲームス

2008年9月1日　初版発行

発 行 者　杉野庸介

担当編集　丸山章司

発 行 所　株式会社一迅社

〒160-0022　東京都新宿区新宿2-5-10　成信ビル8F

電話　03-5312-6133(編集)

電話　03-5312-6150(営業)

印刷･製本　共同印刷株式会社

装　　幀　WANNABIES

ISBN978-4-7580-6106-3

IDコミックス

ISBN978-4-7580-6106-3
C9979 ¥552E
雑誌 50638-88
定価：本体552円＋税
一迅社

ヴァーツラフを打ち倒し、
遺跡船に平和を取り戻したセネル達。
ステラの死を乗り越え、シャーリィと
平穏な日々を過ごせると思ったセネルだが、
『陸の民』と『水の民』の溝はなかなか埋まらず…。
出会いと絆〈キズナ〉が導いた彼らに、
新たな試練が待ち構えていた――。

